

☆☆東京民医連☆☆ 薬害根絶の会 news ♪

2011年7月28日発行 No.24

8月24日は薬害根絶デーです☆ 大きく熱く取り組んで薬害の連鎖を断ち切ろう！

- ☆11:45～12:50 厚労省前リレートーク
- ☆13:00～13:15 厚労省前庭・碑の前行動
- ☆13:30～14:00 パレード
- ☆15:00～17:00 集会（弁護士会館2階クレオ）
- ☆17:30～18:15 街頭宣伝活動

〔最寄り駅〕

東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線
霞ヶ関駅 B3 出口（厚労省）、B1 出口（弁護士会館）

☆薬害根絶ちらし&フラッグ☆

恒例の「薬害根絶デー」グッズを各薬局に送ります。

忙しい日常とは思いますが、チラシの配布とフラッグ飾り付けで
「薬害根絶」のアピールを今年もよろしくお願いします。



◀上の写真▶講師の阿部弁護士

◀下の写真▶学習会の様子

6月25日薬害イレッサ学習会開催されました♪

6月25日まったり気分の土曜午後にイレッサ学習会が開催されました。
参加者が予測を裏切る37名と大変うれしかぎりの開催でした。

阿部弁護士からは、国の責任を認めなかった大阪地裁も判決文の中で国の責任を厳しく指摘していること、学会の声明文は厚労省の下書きがもとだったこと(九電のやらせメールとカガツ〜)、「利潤を追求する企業が自己の不利益となる情報を出さないようにするのは当然考えられるゆえ行政指導を確実にすることは国の責務」とした東京地裁判決の重要性などが話されました。

宮地薬剤師からはイレッサ申請の資料、議事録などが示され、当初から何が問題となって、その問題はどうか対処されたのか(されなかったのか)が話されました。薬が有効で安全に使われるためにその本生を紐解くツールとして「審査報告書」があります。メーカー主催の学習会や資料、雑誌を読む時間があれば「審査報告書」を読んでください…。決して患者の犠牲を前提にした「育薬」であってはならない…。という訴えは全く同感でした。

講演のあと参加者でグループワークを行ないました。出された意見・感想を少しだけ紹介します。

- ・承認審査の杜撰さにあきれた。しっかりやっていたら違う結果になっていたかもしれない。
- ・市場を治験の場にしていないか！承認試験の段階からきちんとした試験をさせる工夫が絶対必要。
- ・医療のメーカーにとっては、需要と供給で販売するのではなく、もっと倫理的なものが最優先されるべき。
- ・そのビデオを観て、企業や厚労省の対応は今も昔も変わっていないなど。
- ・薬事委員会でやめるべき薬、新薬等の制限を薬剤師側からしっかりと行う。
- ・新薬を興味本位で対応していないか、我々現場の責任も感じないと。
- ・患者の不利益をなくすために、薬剤師は本気で薬を調査しないといけない。